

大阪商業大学 JGSS 研究センターでは、個票データによる 2 次分析の論文を、下記の要領で募集いたします。
多くの方々の積極的なご応募を期待いたします。

1. 募集の目的

JGSS 個票データ利用の推進および研究成果の発表

※EASS 個票データを用いた論文も対象になります。ただし、日本(JGSS)のデータを分析対象に含んでいる必要があります。

2. 主 催

大阪商業大学 JGSS 研究センター

3. 内 容

JGSS 個票データの分析に基づく論文。課題は特に指定しません。

論文は原則として 1 人 1 編、単著とし、未発表のものに限ります。

(1) 論文: A4 判 8~12 ページ(図表を含む)…<執筆要領>の様式に添って作成

(2) 申し込み用紙

4. 応募資格

大学または研究機関の研究者、大学院生、学部生(執筆時、大学院生・学部生を含む)

5. 応募方法

応募の際は指定の申込用紙を JGSS のホームページ(<https://jgss.daishodai.ac.jp>)からダウンロードし、氏名、所属、連絡先など必要事項を明記して、論文ファイル(Word と PDF)とともに電子メールに添付して下記アドレス宛にお送り下さい。

なお、学部生の場合は、指導教員を通して提出して下さい。

6. 受付期間及び提出先

受付期間: 2026 年 2 月 13 日(金)まで

提 出 先: 大阪商業大学 JGSS 研究センター

E メール: jgss@daishodai.ac.jp

7. 選考方法と発表

主催者において審査委員会を設け、審査を行います。

審査結果は、優秀論文については 2026 年 2 月末までにお知らせします。

優秀な論文については、2026 年 3 月上旬~中旬頃にオンラインにて開催予定の「JGSS 研究発表会 2026」において表彰式を行い、執筆者に報告していただきます。研究発表会の日程など詳細については、決まり次第、JGSS のホームページに掲載します。

優秀論文は、JGSS 研究論文集(2026 年 5 月末刊行予定)に掲載し、JGSS のHP・大学のリポジトリから発信(ダウンロード可)します。

8. JGSS 調査研究奨励プログラムへの参加の機会(大学院生・ポストドクトラル研究員のみ)

大学院生やポストドクトラル研究員の場合、JGSS 公募論文に応募して優秀論文に選ばれなかった場合でも、審査委員会のコメントに基づいて修正することによって、質の高い論文になると見込まれる場合は、「JGSS 調査研究奨励プログラム」への参加を呼びかけることがあります。

このプログラムの参加者には、JGSS 研究センターの専属研究者および運営委員が指導にあたります。指導の下に、論文を練り直して、「JGSS 研究論文集」に掲載できる水準にすることが主な目標です。

お問い合わせ: 大阪商業大学 JGSS 研究センター

<https://jgss.daishodai.ac.jp>

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

《執筆要領》

1) ページ設定

- ・A4判サイズで余白は上下左右とも 25mm とる。
- ・文字数と行数は 45 字 × 45 行に設定する。
- ・英文論文の場合は行数だけ 45 行に指定する。

2) フォント

- ・MS 明朝 10pt に設定する。
- ・英数字はすべて半角で入力する。
- ・英文論文の場合は Times New Roman 11pt に指定する。

3) 長さ

- ・表紙(タイトルページ)1ページ + 本文 11 ページ以内 = 計 12 ページ以内
- ・本文は 2 ページ目から始め、[Acknowledgement]、[注]、[参考文献]を含めて 11 ページ以内。
- ・[本文]→[Acknowledgement]→[注]→[参考文献] の順序にする。

4) 表紙に記載する内容(下記の順序で 1 ページ目に記入する。書式やレイアウトの設定は不要)

- ①タイトル(和文・英文の両方:タイトルまたは副題に「JGSS」という文言を必ず組み込む)
- ②氏名(和文・英文の両方)
- ③所属(和文・英文の両方)
- ④英文要約: 180 語以内 ※学部生の応募の場合、英文要約は不要
- ⑤日本語要約: 400 字以内
- ⑥キーワード(和文・英文の両方: JGSS を含めてキーワードを 3 つ挙げる)
※学部生の応募の場合、英語キーワードは不要

5) 見出し、小見出し

- ・半角数字で記入する。
- ・見出し、小見出しの前は 1 行あける。見出しと小見出しが連続する時はあけない。
見出し: 1. ~ 2. ~ 3. ~
小見出し: 1.1 ~ 2.2 ~ 3.3 ~

6) 図表

- ・図表は本文中に入れる。
- ・表 1、表 2、表 3……、図 1、図 2、図 3……、と通し番号を付ける。
- ・白黒印刷に配慮した配色・網掛けにする。
- ・図表を Excel で作成した場合は、Excel ファイルも提出する。
- ・図のタイトルは図の下に、表のタイトルは表の上に付ける。

7) JGSS データ利用に関する Acknowledgement

- ・データと共に提供される README ファイルに記載されているものをコピーする(JGSS のホームページにも Acknowledgement が記載されている)。

8) 注

- ・本文中には、上付き文字で⁽¹⁾⁽²⁾と記入する。
- ・注の内容は文末([Acknowledgement]と[参考文献]の間)にまとめる。
- ・Word の脚注機能は使わずに、手作業で入力する。

9) 参考文献

- ・本文中で引用した文献や論文のみを記載する。
- ・共著の場合、著者名は省略せずに全員あげる(本文内の引用中では全員あげる必要はない)。
- ・JGSS コードブックは参考文献に載せない。
- ・外国語文献の著者名はフルネームで記載する(ラストネーム, ファーストネーム)。
- ・参考文献は外国語文献と日本語文献を分けてアルファベット順に並べる。
- ・外国語文献のタイトルは斜体にする。
- ・JGSS 研究論文集は、下記の通り簡略化した表記にする。

[例]

保田直美, 2007, 「JGSS-2005 にみる日本の心理主義—心理学知識と心理還元主義の擬似相関—」『日本版 General Social Surveys 研究論文集』6: 119-130.

青井和夫, 1974, 「社会体系の深層理論」青井和夫編『理論社会学』社会学講座 1, 東京大学出版会.

品田知美, 1996, 「既婚女性の家事時間配分とライフスタイル」『家族社会学研究』8: 163-173.

Beck, Ulrich, 1986, Risikogesellschaft Auf dem Weg in eine andere Moderne, Suhrkamp. (東廉・伊藤美登里訳, 1998, 『危険社会—新しい近代への道』, 法政大学出版局.)

10) ウェイトを使用した場合

- ・ウェイトを使用していることを本文中に明記する。

11) 記述の統一の例

- ・JGSS-2005・・・半角数字 ハイフン 調査年
- ・EASS 2006・・・EASS の場合はハイフンをつけない

JGSS 公募論文 2025 申込用紙

ふりがな			
氏 名			
所属・職位(学年)	執筆時:		
論文タイトル(日本語)			
論文タイトル(英語)			
連絡先			
住 所	〒		
TEL/FAX			
e-mail*1			

指導教員*2	氏名:		
	所属・職位		

*1 連絡は主にメールを使用するため、e-mail アドレスは最もアクセスしやすいものを記入のこと。

*2 学部生の場合は、指導教員の氏名・所属を記入のこと。